

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	国語	科目	国語表現	学年	第3学年	類型	I 型
単位数	2 単位	教科書	国語表現 改訂版（大修館書店）				
補助教材	常用漢字ダブルクリア 四訂版（尚文出版）、〔新版六訂〕カラー版新国語便覧（第一学習社） 国語必携パーフェクト演習（尚文出版）						

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
------	--

学期	月	単元（学習項目）	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4 月	自分を見つめて	経験から得たことなどから自分がどんな人間かを見つめ直す。	期 末 考 査
		効果的な自己PR	相手の印象に残る表現、効果的な表現を考えさせ身につけさせる。	
	5 月	将来の自分を考えよう	将来の生き方について考え、つきたい職業について調べる。	
			情報の収集の方法やまとめ方について学ぶ。	
2 学期	6 月	志望理由を書こう	志望する進路先に関する情報を集めた上で、志望先でやりたいことや将来の目標、自己PRを含めた志望理由を書いてまとめる。	期 末 考 査
	7 月	自己推薦書を書こう	志望先に提出する自己推薦書に求められることを理解する思考力や、書類に必要な要素の関連性を踏まえて具体的に書ける表現力を向上させる。	
	8 月	面接にチャレンジ	面接に必要な表現力と対応力を養う。	
		小論文とは何か	小論文と作文の違いを明確に認識し、小論文の基本的な書き方を身につける。	
	9 月	反論を想定して書く	自分の意見と対立する立場の意見をいったん認める書き方を学び、より説得力の強い小論文が書けるようにする。	
	10月	文章を読み取って書く	他者の意見を正確に把握し、それに対する自分の意見をしっかり書く。	
3 学期			評論文などを正確に読み取りそれを要約し、それに対する説得力のある論述を行う力を養う。	学 年 末 考 査
		統計資料を読み取って書く	統計資料を正確に読み取り、考察し、自分の意見をしっかり述べる力を養う。	
		発想を広げて書く	どうすれば諸論文の内容に関するアイデアを生み出せるかを知る。	
	1 月	通信文を書き分ける	社会に出たときに必要となるであろう、手紙の基本的な書き方を身につけ、適切な通信文を使い分ける力を養う。	
	2 月			
	3 月			

学習の方法	普段から読書をしたり、ニュースや新聞に触れて、読む、書く、調べることに慣れましょう。授業ではノートに大事なことをメモをしながら丁寧に文字を書くようにしましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。平常点は、提出物・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。		